

松原中学校ブロックの小中一貫教育構想図

本ブロック 小中一貫教育目標

R6

地域に根ざし、豊かな人間性と未来を生きぬく力を育成する

京都市学校教育の重点

めざす子ども像
「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども」

- 1.授業を通して自ら進んで学ぶ力を培う。
- 2.家庭での自学自習の習慣
- 3.自他を大切にする態度の育成
- 4.「公共の精神」に基づく態度の育成

ブロックでめざす子ども像

- ①正しい言葉づかいと挨拶ができる。
- ②人の話をしっかりと聞くことができる。
- ③時間が守れる。
- ④掃除ができる。
- ⑤自学自習ができる。
- ⑥自分の考えを明確に表現できる。
- ⑦地域を誇れる。

児童生徒と地域の実態

- ☆児童・生徒の様子
- ・全体的に落ち着いた雰囲気をもっている。
- ・挨拶や言葉づかいにやや問題のある子どもがいる。
- ・時間の使い方が上手くない生徒が多い。
- ・規範意識の低いと感じられる場面も見受けられる。
- ☆通学区の状況
- ・2小学校の行政区が違う。
- ・伝統文化に触れる機会が多い。
- ・家庭の教育力の格差が目立つ。

教材の工夫 ⇐ 9年間の系統性（道徳指導を含む）

教職員間の交流 ⇐ 合同研修の活性化・課題別検討会の実施

地域との連携 ⇐ 学校運営協議会・地域行事への参加

具体策

学 力 形 成

習得と活用と探究の中で、深い学びの過程の実現・他者との協働する対話的な学びの過程の実現・自らの学習活動を振り返りながらの主体的な学びの過程の実現

人 格 形 成

児童生徒に自己存在感や自己有用感を与える指導・共感的人間関係を育成する集団づくり・意図的に自己決定の場を与えるカリキュラムの編成

学 校 づ く り

教職員間連携を強化し、ともに能力を発展させていく組織・学校力の向上を図るため、学校関係者（保護者・地域住民・保幼児童館）とのつながりを強化・複雑化する問題にしっかりと対応するために積極的に専門職と連携

自ら考え行動し よりよい姿をめざして なかまと共に力を高め合う子の育成

目指す子ども像

- 自ら考え、自ら行動する子ども
- 【考える子】
- 多様な他者と協働し、互いの力を高め合う子ども
- 【協力する子】
- 向上心をもって取り組む子ども
- 【がんばる子】

朱雀第三小学校

自ら考え行動し、仲間と協働できる、未来を切り拓く生徒の育成

目指す生徒像

- 自分で判断ができ、行動に移せる生徒
- 自分の考えを相手に伝えることができる生徒
- 相手の考えをしっかりと聞き、折り合いをつけることができる生徒
- 他の人を大切にできる生徒
- 目標を達成するために、仲間と協働できる生徒
- 夢や希望を持ち、実現に向けて努力できる生徒
- 学びを深めるためにICTを活用できる生徒

松原中学校

「自ら学び 自信と誇りをもち 共に高め合う子の育成」
～ かしこく やさしく 元気よく ～

目指す子ども像

- 自ら学び よく考え 学び合える子
- 話をしっかりと聞き、よく考え、自分の思いを伝え合える
- 心やさしく ひとを大切にする子
- 心やさしく、素直で、自分も友だちも大切に
- 明るく元気で たくましい子
- 自分の体を大切に、明るく朗らか、元気でたくましい

光徳小学校

児童生徒…自分の大切さとともに他の人の大切さを認める。
教職員…児童生徒一人一人を徹底的に大切にする。